

やまぐち女性の活躍推進宣言制度 6事業者に登録証

山口県は23日、本年度創設した「やまぐち女性の活躍推進事業者宣言制度」の趣旨に賛同した県内6事業者に、女性の活躍推進事業者の登録証を交付した。

登録証を受けたのは、人事情報システム、M.I.H.O.R.I、医療法人協愛会、富士ゼロックス山口(以上、

山口市)サマンサジャパン(周南市)山口フィナンシャルグループ(下関市)。いずれも5月末までに申請を済ませた。

登録された事業者は女性労働者の活躍推進に向けた取り組みを積極的に行う計画を掲げており、県が取り組みをPRするほか、



村岡副政知事から「やまぐち女性の活躍推進事業者宣言制度」の登録証を受け取る賛同事業者ら＝23日、山口県庁

県中小企業制度融資(女性活躍応援資金)を利用できる。

県庁で交付式があり、5事業者の代表者らが出席。村岡副政知事が登録証をそ

れぞれ手渡した。協愛会は阿知須共立病院を運営し、管理職に占める女性割合50%以上を目指している。院内保育所を設けるなど女性職員が安心して働く環境づくりにも力を入れる。三好正規理事長(78)は「これを機に、自信と誇りを持って女性の管理職に職場を引っ張ってほしい」と話していた。

山口県5人、海外支援へ JICAボランティア壮行式

青年海外協力隊など国際協力機構(JICA)ボランティアとして開発途上国に山口県内から派遣される5人の壮行式が23日、県庁であった。

青年海外協力隊が周南市の陶山侑亮さん(22)、山口市の橋本加代さん(26)、下松市の秀浦知美さん(36)、日系社会青年ボランティアが下松市の藤井寛之さん(28)、シニア海外ボランティアが下関市の藤田俊裕さん(66)。いずれもアジアや中南米の各国に約2年間派遣される。

橋本さんは中国遼寧省の鉄嶺市にある中高一貫校に赴任し、日本語教育を担当する。「活動を通して日本の文化や、楽しさを伝えられたらいい」と意気込みを話した。

藤田さんはペルーのピウ

ラ市の職業訓練センターで、自動車整備に関して現地の指導者らに助言などを行う。「40年にわたり私が身に付けた技術を伝達し、相手国の要望に応えたい」と抱負を語った。

壮行式で、県観光スポーツ文化部の林省一審議監が「最初は文化や風習の違いに戸惑いもあるが、まずは慣れて現地の人たちと信頼関係をつくり、専門分野でしっかり活動してほしい」と激励した。

JICA中国によると、1965年に派遣事業が始まって以来、これまでに県内から621人が88カ国で活動した。現在は38人が19カ国に派遣されている。

壮行式に臨むJICAボランティアたち＝23日、山口県庁